

開講

運営委員

特集

一言感想

YESニュース

第3号 発行日：2006年7月24日

6月3講座が開講！ 校内情報化推進と理科は8月より受講者の追加募集します。

図画工作科 6月7日開講



佐々木先生の講義は、先生の引き込まれるお話はもちろんのこと、折り紙を使ったアイスブレイキングあり、絵の具とクレパスを使った活動あり、鑑賞あり、初回から盛りだくさんの講義でした。そして教室は、受講なさっている皆さんの笑顔でいっぱいでした。今年も有意義でなごみのある素敵な講座のお手伝いさせて頂けることを嬉しく思います。次回の造形遊びも今から楽しみでなりません。

(杉山郁子)

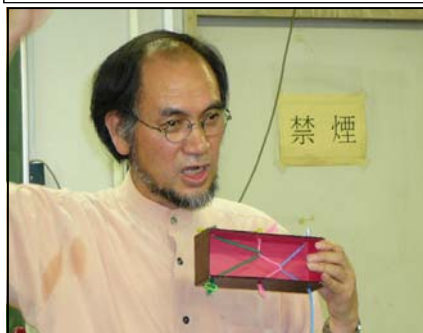
515校を越える18000人余の教諭の研修には限界があり、校内OJTの必要性和研修センターの研修内容を見直すという長い文章が市教委から届いて、現場では忙しいのにまた来たぞ！という反応です。キャリアステージにあわせて授業力を上げるために、自分を磨くために研修計画を立てて研修せよ！と言われて、仕事を減らしてくれたら、もっと研修ができるのにと、現場ではいたって冷静です。講座の受講生たちのように、誰に強制されることなく自分で高い受講料を払って進んで研修している方々は、すでに自分なりの研修計画をもって実践しておられるし、初任者や10年次の方々

校内情報化推進 6月7日開講



はやらねばならないと思って計画に従って研修されているし、何を今さら、というところ。ところがこの通達、一番最後に地域連携の必要性を説いていて、教育関係者のNPOが大学と並列で書かれています。大学との連携の講座は既に案内が来ておりますが、内容を見ても一日限りの講座で連続している講座はありません。今後、YESフォーラムの講座が研修をしたいと思っている方々のお役に立てることは間違いのないようです。(秋山美知子)

理科の後藤先生です。よろしく



講師の後藤富治先生は、どらえもんのようにポケットいっぱい、瞳の優しい先生です。身近に手に入るもので、子どもたちの好奇心をくすぐる数々の教材を考案されておられます。私も含め、講座に参加され

理科講座 6月27日開講



た方々は夢中になって教材づくりに取り組みました。それだけで私は十分満足でしたが、本講座ではただ作って遊ぶに止まらず、先生の授業に対する大局観に大いに感化されると同時に、単元のどの場面で登場させればよいのか、子どもへの投げかけはどのようにすればより効果的かなど、具体的に考える機会もあり、大変有意義でした。次回がとても待ち遠しくワクワクしています。(高橋啓一郎)

7月8・9日「YES交流合宿in道志村」は講師・運営委員・他NPO団体が「かやぶき古民家」を借り切って開催。村長・教育長と「道志村を教師の学舎に」の懇談会。ピザの窯焼き体験、ジャガイモ掘り、間伐体験も。もちろん横浜教育再生大討論会も最後の恒例の温泉研究会も。

~~~~~報告詳細は次号で~~~~~

